

第 48 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会東京都予選 追加要項

貴団体におかれましてはますますご清栄のことと存じます。

7 月 26 日(土)、27 日(日)に行われます競技会の詳細が以下のとおり決まりましたのでお知らせいたします。

- ① コーチ入場 両日とも 7:15 2 階東側選手・コーチ出入口より入場

※AD カードを持参の上、入場すること。忘れた場合は入場不可とする。

☆事前購入したプログラムは【選手・コーチ出入口横】に設置するため速やかに取りに来ること。

- ② 選手入場 両日とも 7:30 2 階東側選手・コーチ出入口より入場

※AD カードを持参の上、入場すること。忘れた場合は入場不可とする。(必要事項記入・チェックをすること)

- ③ 競技開始等は、別紙タイムテーブル(競技順序)を確認すること。

※保護者観覧については、東京都水泳協会ホームページ『競技会の観覧について』を確認すること。

【メインプールウォーミングアップ、クールダウンについて】

※本大会は A 面での 1 面開催とする。B 面は競技中常時アッププールとして開放する。

A 面両日 周回レーンのみ 7:30～8:45

B 面両日 7:30～競技終了後 10 分まで 周回レーンのみ

1～4 レーン男子、5～8 レーン女子周回レーン 0 レーン男子、9 レーン女子ダッシュレーン

- ◆ レーンロープにつかまったり、ぶら下がったりしないこと。(所属のコーチが必ず監視、引率すること)

競技中、ダッシュレーンでホイッスルは使用できない。

- ◆ メインプールの水深は 2.0m に設定する。

【ダイビングプールのウォーミングアップ】

(両日) 7:30～8:45 ※ダッシュレーンのみ。

スタート台は東側に設置する(東側からの一方通行とする)

混雑状況に応じて出発合図員がスタート練習を行う場合がある。

(両日) 8:45～使用禁止

- ◆ 水深は 5.0m に設定する。低年齢選手のアップは必ずコーチ付き添いのもと行うこと。

- ◆ スイムキャップを着用すること。レーンロープにつかまったり、ぶら下がったりしないこと。

※メインプールではプルブイ、キック板、フィンのみ使用可とするが、実行委員が危ないと判断した場合は使用禁止とする。

(安全を考慮しての判断のため、必ず指示に従うこと)

【競技上の注意】

- ◆ 本競技会は A 面での 1 面、0～9 レーン設定で実施する。

- ◆ 基本オーバー・ザ・トップ方式(前レースの選手が水中待機状態で次レースをスタート)で行う。コーチは選手に伝えること。

(選手は泳ぎ終わった後、自レーンから退水すること) 競技進行状況により変更する場合は通告の指示に従うこと。

- ◆ 招集所は会場図、レイアウト図等を参照すること。**アリーナ内、招集所に入る際は、AD カードを首から下げて入場すること。**
※AD カードが無い選手の入館、アリーナ内、招集所への入場不可とする。
- ◆ 監督者会議、記録の認定は行わない。
- ◆ 個人種目を棄権する場合は、棄権用紙に必要事項を記入の上、**コンピューター室**へ提出すること。
- ◆ リレーオーダー提出締切時刻は、両日とも **13:00** までに**コンピューター室**に提出すること。
締切時刻に未提出の場合は【棄権】とする。
- ◆ 棄権用紙、AD カード、選手背番号一覧は追加要項にて掲載する。各団体にてダウンロードし使用すること。
※引率用 AD カードは、参加者 5 名につき 1 枚とする。 例) 13 名の参加者=3 枚
- ◆ アマチュア規定等については、コーチが選手に指導し、十分注意すること。
- ◆ 選手は出場競技終了後速やかに退館すること。

【チャレンジレースについて】

- ◆ 今大会において出場した種目の記録が、JO 参加標準記録 **50m につき +0.50 秒**まで、チャレンジレースに申し込むことができる。
- ◆ 該当競技終了後 20 分以内に、所定のチャレンジレース申込書に記入し、コンピューター室に申込金を添えて申し込むこと。
- ◆ **参加費は個人種目 1,000 円、リレー種目 2,000 円（申込書の提出、参加基準記録を厳守すること）**
- ◆ チャレンジレースは当該種目と同日に行う。

1500m自由形・800m自由形は、チャレンジレースを行わない。

【会場での注意について】

- ◆ **館内への出入りは、選手、コーチは 2 階東側出入口からとする。（AD カードが無い場合は入館不可とする）**
- ◆ **選手・コーチの控え場所はブロック毎に割り振られた東側 B ブロック 2 階・3 階スタンド、B ブロック 4 階奥のスペースのみ別紙スタンド割りを確認すること。（B ブロック 4 階奥のスペースのみ敷物による場所取り可）**
- ◆ 更衣室内のロッカーは使用禁止とする。更衣のみとし荷物は放置せず控え場所に持っていき、各団体に貴重品と共に荷物の管理をすること。（更衣室内ではマスクの着用を推奨する。）
- ◆ 盗難防止のため、貴重品の管理は各団体に責任をもって行うこと。
- ◆ 会場内の器物破損や、落書きなどを発見した場合、実費を請求するだけでなく参加団体を出場停止処分とすることがある。
- ◆ 駐車場は台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関を利用すること。
- ◆ **路上駐車は厳禁です。実行委員が巡回し発見した場合は、所属団体を出場停止処分等の対応を行う。**
東側シャトルバス発着場付近での駐停車も禁止とする。
（最近、保護者のマナーが悪く、巡回の警備員等に暴言を吐く方が多数いるという報告を受けています。巡回警備の指示には従うよう各所属の保護者に周知すること）
- ◆ 食事は可能とする。
- ◆ ゴミは会場内、周辺のゴミ箱に捨てることなく必ず持ち帰ること。
- ◆ 審判長の笛が鳴ったら、スタートの合図まで静かにすること。また、フラッシュ撮影は禁止とする。
- ◆ ガムを噛みながらプールサイドへの入場はできない。
- ◆ **忘れ物・落し物は、期間中東側選手、コーチ出入口付近で保管する。（最終日競技終了後残っているものは処分する）**
持ち物には必ず団体名を明記すること。大会最終日に各団体にて忘れ物の確認をしてから帰ること。
忘れ物、落とし物に関する問い合わせは、所属団体の担当者を通じて行う。
東京アクアティクスセンターへの問い合わせはしないこと。
- ◆ 招集所、更衣室内への携帯電話、タブレット端末、MP3 プレーヤー等の持込み及び使用は禁止する。
- ◆ **東側 1F 招集場前廊下のトイレについては使用を禁止する。（前大会にてイタズラが確認されたため）**
- ◆ プールサイドの履物着用を許可する。（室内用履物）ただし、更衣室内は裸足とする。

- ◆ 競技中は、警備員が館内を巡回する。不審者を見かけた場合は、警備員もしくは競技役員へ届け出ること。
- ◆ 引率者は競技終了後スタンド席を簡易清掃し、速やかに退館すること。

◇ **館内全ての場所において、シート、毛布、カード等での場所取りは一切できない。**

※ただし、東側 B ブロック 4 階スタンド奥のスペースは場所取りを許可する。

いかなる場合も個人の荷物を置いて帰ることは認めない。(退館後に残っているものは撤去します。)

※館内チェーンで入場禁止しているエリア・立入禁止の柵の中には入らないこと。

【撮影許可について】

- ◆ 選手、コーチ用 AD カードが撮影許可証の代わりとなる。(選手、コーチのみ)
- ◆ 会場内でのビデオ及び写真撮影は全て許可制とし、許可なく撮影した場合はテープ、メモリー、機材本体等を没収することがある。スマートフォン、タブレット端末などでの撮影にも許可証を必要とする。
- ◆ **撮影をする時は、必ずスタンドの座席に座り行うこと。(通路等での撮影は不可とする)**
- ◆ 撮影を許可する対象は「出場団体引率者」「出場選手」とし、状況により身分証明書の提示を求める場合がある。

【その他】

- ◆ 追加要項、協力競技役員について・・・後日、東京都水泳協会ホームページにて公開する。
- ◆ 悪天候、天変地異、会場側の不測の事態等により、開始時刻の遅延もしくは開催を中止する場合がある。
その際は東京都水泳協会ホームページ <https://tokyo-swim.org/> もしくは会場の館内放送で状況を確認すること。
- ◆ 不明な点、問い合わせ等は (公財) 東京都水泳協会 ジュニア委員会 jr@tokyo-swim.org に送信すること。
※問い合わせは必ず参加団体の責任者から送信すること。保護者から直接問い合わせの無いようにすること。

【協力競技役員】

- ◆ 協力競技役員依頼状を確認し、派遣する者に対して予め職務についての説明を行うこと。
職務が“前日”の団体は前日準備への派遣のみとします。
- ◆ 前日準備は **7 月 25 日 (金) 19:00~20:30** 東京アクアティクスセンターにて実施する。
対象となる団体は、協力競技役員依頼書を参照すること。

参加上の注意

- 入場は AD カード(必ずケースに入れ首からかけること)を携帯すること。
- 館内から最終退館(もう 2 度と館内に再入場しない)の際、AD カードの提出は行わない。
- 選手は競技終了後、速やかに退館(監督、コーチも確認し指示する)すること。
- **速報は、東京都水泳協会ホームページにて確認する。(館内掲示は行わない)**
- 招集は、招集No.の案内板を見てから来ること。密を避けるため早くから招集所に集まらないようにすること。
(入場制限を実施する場合もある)
- 選手用の椅子等は設置しない。脱いだ衣類は各自で持参した袋等に入れ持ち歩き、招集所、レースへと移動する。
- **YouTube でのライブ配信は行わない。各日の午前・午後競技終了後にオンデマンド配信として公開する。**
(通信状況、機材状況により配信が途絶える場合、配信できない場合がある)